



Step2

社会・文化

英→日

目次

練習課題.....	5
練習課題 1 Ethiopian Time Travel.....	6
練習課題 2 WEANING	9
練習課題 3 POST ANESTHESIA/SURGERY INSTRUCTIONS.....	12
練習課題 4 1990s Eating&drinking.com	15
添削課題.....	19
添削課題 S-201 Looking for a Little Fun?	20
添削課題 S-202 Summer Slim-Down Special!.....	21
添削課題 S-203 What is the proper way to load the dishwasher?	22
添削課題 S-204 Hanazono Shrine	24
添削課題 S-205 Top Home Trends For 2013.....	25
添削課題 S-206 The International Red Cross Relief Effort in Afghanistan.....	27
添削課題 S-207 Putting Higher Education to Work: Skills and Research for Productivity and Growth in East Asia	28
添削課題 S-208 The Mercury 13 Women	29
添削課題 S-209 The Ugly Side of the Chicken Industry	30
添削課題 S-210 WFP Food Aids to Somalis	31
添削課題 S-211 Social Stratification	33
添削課題 S-212 PPPPP Desvenlafaxine Extend-release Tablet	34
添削課題 S-213 The Ancient Kingdom of Bhutan	35
添削課題 S-214 Docs Debate Pacifier Use.....	37
添削課題 S-215 When Animals Act like Humans.....	38
添削課題 S-216 Always On.....	39
添削課題 S-217 THE OREGON VINTNER	41
添削課題 S-218 The Name after Martin Luther king Jr.	42
添削課題 S-219 Prague Central.....	43
添削課題 S-220 BREAK THROUGH!	44

Sidelight 1	名文ばかりを訳すわけではない？	18
Sidelight 2	専門領域にこだわり過ぎない	23
Sidelight 3	文体に凝り過ぎない	32
Sidelight 4	「ネイティブ並み」より「ユニバーサル」な英語を	36
翻訳コーディネーターJunのぼやき日記		26、40

練習課題

練習課題 1

旅行案内記事の冒頭部です。馴染みの薄い地名については、単に読み方を調べるのではなく、地理や観光などの基本情報も抑えておくと、訳しやすくなるでしょう。(翻訳目安時間：120分、文体：常体)

Ethiopian Time Travel

The Omo River empties into Lake Turkana, not far from where Ethiopia, South Sudan, and Kenya come together. The river valley is difficult to reach; from Addis Ababa the road trip takes the better part of three days, much of it a jolting endurance trail. But tourists began to trickle in 20 years ago, and now an estimated 20,000 stream through annually.

In this valley, a UNESCO World Heritage Site, the oldest remains of *Homo sapiens* have been found, dating back some 195,000 years. DNA evidence suggests every person on Earth today is related to a nameless woman who once lived here. The valley is arguably the true Garden of Eden. Though rugged and wild, it has a green beauty that by itself could draw adventures.

The most powerful lure, however, is the 16 ethnic groups that make the southern Omo Valley the most genetically and linguistically diverse area on Earth. To visit them in some ways feels more like time travel than tourism.

Most of the valley's inhabitants live in huts built from sticks and mud, a pre-industrial world where electricity and running water seem almost unimaginable. Their scraps of clothing are made from animal skins; children run naked. Some tribes subsist on a handful of crops such as maize and sorghum, supplementing their diets with occasional meat from scrawny goats or cows.

(San Diego Reader, 「Ethiopian Time Travel」、<http://www.sandiegoreader.com/news/2012/jun/29/travel-ethiopia-time-travel-omo-river-valley/>, 2014.1.10)

【解説】

- 1) empties into は、川が海や湖に流れ込むことを意味します。
- 2) better part of～は、「～の大半」です。この場合の比較級 better は、more（さらに多い）に近い意味で用いられています。
- 3) 動詞 trickle は本来、水が滴ることを意味しますが、本文では観光客が（水滴が落ちるように）少しずつ来ていることを示唆しています。
- 4) 動詞 stream は、水が流れ込むことを表しますが、ここでは観光客がどんどん来ることの比喩として用いられています。The Omo River という川沿いの土地が主題なので、3) 4) とも、水に関連する語があえて使われています。
- 5) The Omo River 流域は、アウストラロピテクスなど古人類の化石が発見されており、学術的価値が高い場所として、1980年に世界遺産に登録されました。
- 6) 副詞 arguably は、動詞 argue の派生語で「(論理的に) 明らかに」の意味です。ちなみに、同じく argue の派生語である形容詞 arguable については、「(論理的に) 疑わしい」「(論理的に) 証明可能な」という対照的な用法があるため、注意が必要です。
- 7) Garden of Eden (エデンの園) は、聖書に出てくるアダムとイブがいた庭です。The Omo River が、人類の祖先が住んでいた場所であること、また、美しいが到達するのが困難であることを示唆する表現です。
- 8) 名詞 lure は「誘惑物」の意味ですが、目玉となるセールスポイントを表すときによく使われる単語です。釣りで魚をおびき寄せるときに用いる「ルアー」も、同語です。
- 9) subsist on...には「...を食糧とする」の意味があります。
- 10) maize は「トウモロコシ」、sorghum は「モロコシ/コーリャン」です。

【参考訳例】

エチオピアで時間旅行

オモ川が注ぎ込んでいるトゥルカナ湖は、エチオピア、南スーダン、およびケニアの国境からほど近い場所にあります。オモ川の溪谷に辿り着くのは楽ではなく、アディスアベバから陸路で丸3日近くもかかる上、行程の大半は耐久レース並みなのでこぼこ道です。

しかし、20年前からぼつぼつと旅行者が訪れ始め、今では、1年を通じて推定20,000名が流入しています。

ユネスコ世界遺産に指定されているこの谷では、およそ195,000年前にまで遡れる、「ホモ・サピエンス」最古の化石が発見されています。DNA証明によって、地球上に今日存在するすべての人間は、かつてこの谷に住んでいた名もなき女性と結びついているのです。オモ溪谷がエデンの園であることは、間違いありません。整地や開拓はされていないものの、溪谷自体の美しい緑が、冒険心を引きつけるのです。

しかし南部オモ溪谷の最大の魅力は、遺伝子的ならびに言語学的に見て、地球上で最も多様性に満ちた16の部族です。彼らの部族を訪れると、ある意味で、観光というより時間旅行をしているような気分になります。

オモ溪谷に住む人の大半は、丸太と泥でできた小屋に住み、電気や水道などおよそ想像もつかないような前近代的な生活をしています。彼らの身をわずかに覆う衣服は、動物の皮でできており、子供たちは裸で走っています。食糧と言えば、トウモロコシやモロコシなど少量の穀物で、たまに痩せこけたヤギや牝牛の肉で栄養を補うという部族もいます。